

梯きざはし

きざはし【階】〈梯〉はしご段。地域の皆様と健康生活へのかけはし。



地方独立行政法人

那覇市立病院

〒902-8511 沖縄県那覇市古島2丁目31番地1
TEL 098-884-5111 (代表)
TEL 098-887-1199 (急病センター)

<http://www.nch.naha.okinawa.jp/>



写真提供：川野 幸志

那覇市立病院

●●●● 理念「和と奉仕」 ●●●●

- 一、私たちは、市民の安心できる病院をめざします。
- 一、私たちは、微笑みと優しさを持って接するように努めます。
- 一、私たちは、診療内容をわかりやすく説明・開示するように努めます。
- 一、私たちは、いつも最新の質の高い医療をめざします。
- 一、私たちは、地域の医療機関と協力して開かれた病院をめざします。
- 一、私たちは、医療・福祉・保健の相互連携の発展に努めます。

●●●● 「患者の権利」 ●●●●

- 一、誰でも、人権が尊重され平等に良質な医療を受ける権利をもっている。
- 一、誰でも、自分で病院や診療方法を選ぶ権利をもっている。
- 一、誰でも、十分な説明のもとに診療を受ける権利をもっている。
- 一、誰でも、自分の治療上のプライバシーが尊重される権利をもっている。
- 一、誰でも、自分の診療記録の開示を求める権利をもっている。

CONTENTS

| | |
|--------------------------|----|
| 脳卒中とは？ 副院長(脳神経外科) 島袋 洋 | 2 |
| 新規採用職員オリエンテーション | 4 |
| 新人看護師をむかえて…… | 5 |
| 透析室紹介 | 6 |
| リハビリテーション室紹介 | 7 |
| 旬の食材を利用して春を感じてみませんか？ | 7 |
| 出産体験記/那覇市立病院そらまめ会(透析患者会) | 8 |
| 地域医療連携室へようこそ | 9 |
| 新採用医師の紹介 | 10 |
| 初期臨床研修医(1年次)の紹介 | 11 |
| 登録医紹介 | 12 |
| 事務局新規採用職員 | 15 |

案内図





脳卒中とは？ (Part 1)

地方独立行政法人 那覇市立病院
副院長(脳神経外科) 島袋 洋

はじめに

脳卒中の卒中とは「卒(突然)として中(あ)た)る」という意味の言葉で、脳卒中は脳の血管の閉塞(つまり)や破綻(出血)が突然起こる病気の総称です。脳卒中の診療は、発症から治療開始までの時間が重要と考えられ、最近欧米では心臓発作(Heart attack)と同様に、脳卒中を脳発作(Brain attack)と呼ぶようになり、早期治療の必要性が叫ばれています。

当たり前のことですが、気が病むことを『病氣』、気が元通りなることを『元気』と言います。脳卒中は中氣(ちゅうき)とか中風(ちゅうふう)と呼ばれ、不治の病として恐れられていました。中気の『氣』は、体の内部環境のようなもので、中氣は、気が当たって倒れる病とされていました。中風の『風』は、体の外部環境の一つで、中風は、風邪に当たって倒れる病とされていました。そして、風邪に当たった人は「中風病み」と呼ばれ、特別な治療があったわけでもなく放置されていました。今日では、脳卒中で倒れた人々の多くが、直ちに病院に収容され、正確な診断と適切な治療が行われます。

日本人の死亡統計をみますと、1970~75年まで死亡率第1位だった脳卒中は減少に転じ、今ではガン・心臓病について第3位となっています。脳卒中も、重症な脳出血が多かったのですが、最近は栄養状態の改善と高血圧症の管理がよくなり、脳出血は減少傾向で軽症化しつつありますが、脳梗塞が増加しています。脳梗塞の増加は、食事の欧米化によって糖尿病、高脂血症や高血圧症が増えたこと、そして高齢化が進み、心臓・血管系の病気(動脈硬化や不整脈など)が増えたことが原因と思われます。脳卒中の死亡率は確かに減少してきましたが、脳卒中を発病する人々はけっして減少していないのが現状です。また、脳卒中の患者数は170万人と推定され、最大の要介護疾患と言われています。初期治療によって一命をとりとめても、大変なハンディキャップを背負い、精神的に落ち込んでしまいます。しかし、い

ずればその障害を受け入れ、残された機能を生かして、第二の人生を歩まなければなりません。その様なことが起こってしまってからでは遅いのです。まずは、脳卒中にならないように予防することが第一です。

脳卒中の種類

脳卒中は、主として脳血管の閉塞による**脳梗塞**と、脳血管の破綻による**脳出血**とに大きく分けることができます。前者はさらに脳動脈自体の動脈硬化に基づく閉塞(**脳血栓症**)と、心臓などから遊離した血栓による二次的な閉塞(**脳塞栓症**)に分けられます。一方、脳血管の破綻は、その部位により脳内の細動脈が破綻する**脳内出血**と、脳底のクモ膜におおわれた太い動脈が破綻する**クモ膜下出血**とに分けられます。脳内出血は高血圧症に伴う脳内細動脈の壊死により生じ、クモ膜下出血は、脳動脈に生じた瘤(脳動脈瘤)の破裂により生じます。このように、脳血管の閉塞や破綻といっても、その原因は様々ですから、脳卒中の診療では正確な診断と、それぞれにふさわしい治療の選択が重要になります。脳卒中の症状としては、意識障害ばかりでなく、ごく軽い頭痛や痺れ・脱力、言葉のもつれ、一過性の視力障害やめまいなどにも注意が必要です。これらの徴候は脳卒中の危険信号です。



脳梗塞とその治療は？

前述しましたように脳梗塞には、**脳血栓症**と**脳塞栓症**に分けられます。

脳塞栓症では、これまで有効な治療法がな

かったために、急性期治療はあまり行われませんでした。最近、発症から3時間以内の脳塞栓症に対する血栓溶解療法の有効性が科学的に証明され、脳発作(Brain attack)に対する早期治療の必要性が再認識されるようになりました。

血栓溶解療法とは、血管閉塞の原因となった血栓を溶解する薬剤(組織プラスミノゲン・アクチベータ(t-PA))を①静脈から注射する方法と、②極細のマイクロカテーテルを大腿動脈から閉塞した脳血管のところまで送り込み、そこから血栓溶解剤を局所的に動脈注射して閉塞血管を再開通させる治療法があります。閉塞していた血管が再開通すると、発症直後に出現した言語障害や片麻痺が劇的に改善することが知られています。

①では、10人中3人が完全に回復したのに対して、治療が行われなかった場合の完全回復は10人中2人で、この成績を更に向上させるために、②が試みられ、閉塞血管の再開通は3人に2人の割合で改善し、完全に回復する症例が静脈注射に比べて増えるようです。これらの治療法の有効性を決める要因として、発症からの時間や脳血流の障害の程度も重要です。治療効果のある患者さんは、脳血流量が正常の40-50%程度残存していることが必要で、可及的早期に閉塞血管が再開通されなければなりません。特に②の適応は難しく、発症からどんなに早くても、脳梗塞が形成された症例では、血栓溶解療法により脳梗塞巣内に大きな出血を生じる恐れもあります。従って、この治療法は脳卒中診療が完備された病院で、専門医の管理下に行われることが重要と思われれます。

頸部内頸動脈狭窄症は、冠動脈狭窄症(狭心症や心筋梗塞の原因)や大腿動脈狭窄症(一時的に足が動かなくなる間歇的跛行症の原因)などと同様に、動脈の内腔を覆う膜(内膜)が、アテローム硬化によって肥厚し、動脈の内腔が狭くなる病気で、この狭窄部から血栓の一部がはがれて脳の小血管を閉塞したり、狭窄

の末梢の血流の勢いが低下(循環不全)したり、様々な神経症状を引き起こします。症状は長続きせず短時間に元に戻るのが普通です。片麻痺や言語障害が一時的に生じる場合を一過性脳虚血発作、視力障害が一時的に生じる場合を一過性黒内障と言います。これらの症状は脳梗塞の“前ぶれ”の症状である場合が多く、放置すると危険です。これまで欧米人に多く、日本人には少ないと言われていましたが、食生活の変化により高血圧症や糖尿病、高脂血症などの危険因子の増加とともに急速に増えています。最近では、診断機器の進歩と普及により、無症状の段階で見つかることも多くなっています。頸動脈エコー検査や磁気共鳴断層画像を用いた血管撮影(MRA)検査では、造影剤やカテーテルを用いることなく、外来でも確定診断が可能です。

頸部内頸動脈狭窄症に対する治療には①**血栓内膜剥離術**と②**経皮的頸動脈ステント留置術**があります。①は、アテローム硬化により肥厚した内膜の部分を、動脈の筋層である中膜から剥がし、一塊として切除する方法で、手術は全身麻酔下で行われます。頸動脈を動かすことによって血栓の一部が末梢に飛散したり、頸動脈の血流を一時的に遮断したりするので、手術により新たに脳梗塞を生ずる危険があります。②は鼠径部の大腿動脈からカテーテルを総頸動脈まで挿入し、そのカテーテル中から細いカテーテルを狭窄部近傍まで挿入し、バルーンを一時的に留置します。狭窄遠位部には操作中に血栓が飛んでも捕獲できるようなガードを施して、狭窄部をステントで押し拡げて留置する方法があります。元々血管に脆弱性のある患者さんが多く、手術による合併症も懸念されるので手術の適応基準は厳密に行います。60~70%以上の狭窄が手術の対象となり、脳血流量も測定します。手術チームの技量も重要で、合併症のリスクが、有症状例に対しては5%以下、無症状例に対しては3%以下が望ましいと思います。

[次号に続く]

平成21年度 新規採用職員オリエンテーション

事務局・照屋 努

地方独立行政法人那覇市立病院（以下、当法人）に入職した、新規採用職員のオリエンテーションが4月1日から3日間行われました。

4月1日付けの新規採用者は、医師・看護師など各職種を合わせて総勢124名となりました。多くの新規採用職員が、ここから社会人、そして医療人としての始まりです。



〈辞令交付式〉

オリエンテーションの初日は、辞令交付式から始まり與儀實津夫理事長から医師、事務職、コメディカルの職員、看護部の代表者に辞令が交付されました。

看護師の辞令交付は、午後に看護部長から一人一人、辞令が交付されました。

引き続き、理事長より「病院の理念」、「公立病院としての那覇市立病院」についての挨拶がありました。その後、宜保哲也事務局長から「那覇市立病院の組織」、「独法について」や「中期目標・中期計画」についての講演等があり、午後からは看護師を除く新規採用職員は院内を見学しました。

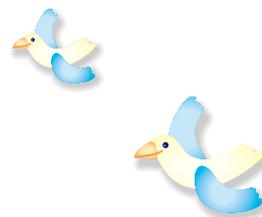


〈オリエンテーション風景〉

二日目は「職業人としてのマナー」や各部署の紹介を行い、三日目は新しく導入する人事評価制度・福利厚生や庶務事務システムについての説明で3日間のオリエンテーションが終了しました。最後

になりましたが、平成21年度に採用されました職員の皆様、入職おめでとうございます。

職種は異なっても、同期として互いに力を合わせ、信頼される良き社会人、そして医療人に成長してください。



新人看護師をむかえて……

看護部・教育担当師長 高江洲和代

平成21年度は、多数の新人看護師が入職いたしました。新卒者60名、既卒者14名の総勢74名のニューフェイスです。

4月3日～4月6日まで全体オリエンテーション、4月6日午後より看護部の教育委員会が主催する、研修がスタートしました。4月22日までの3週間、倫理、ヘルスアセスメント、感染管理、BLS（一次救命処置）等様々な研修を行います。

例年になく、大勢の新人をむかえ同様の研修を2～3回に分けて、新人にわかりやすく講義をしていただきました。講師をしていただいた、先輩ナースの方々には長時間の研修を行っていただき大変感謝しています。

研修の学びから、那覇市立病院における看護者の役割を認識し、患者さんへ安心、安全で責任ある看護が提供できるようがんばってほしいと思います。

今年度の新人さんは、まだまだ緊張した表情もみられますが、明るく、元気で、自分たちの意見もしっかり言える頼もしいスタッフです。1年後の成長が楽しみです。

各病棟、新人スタッフが、3～8名配属され指導にあたるスタッフも大変ですが、新人が成長し1人前のナースとして育った時の喜びを目標に暖かい目で見守ってくださいね。



〈新人研修・BLS〉



〈新人歓迎会〉



〈ME(臨床工学技師)による指導・シリンジポンプの使い方〉



〈重傷集中認定看護師による指導・ヘルスアセスメント〉

透析室紹介



病院正面玄関より入って真っ直ぐ奥に進み、モノレール駅に近い所に透析室があります。

◆透析とは？

何らかの原因で体の中の腎臓の機能が弱ってきたり、機能しなくなってくると、体の中の不要な水分や老廃物が体の外に出せなくなり溜まってきます。

その結果体が浮腫んだり、疲れやすく貧血になったり嘔吐・下痢などの消化器症状をおこし最悪では命の危険もあります。そうならないため腎臓の代わり体の余分な水分や老廃物を体の外に出す役目をするのが透析です。

透析室の概要：病床数：30床

患者数：78名(H21年3月現在)

年間透析件数：約12000件

治療体制：午前・午後の2クール制



スタッフは医師2人、看護師17人、臨床工学士4人(兼任)、事務1人、看護補助員2人で患者様の治療に当たっています。

急性期担当病院として、通常行われる血液透析以外に、入院病棟・ICUで緊急に行われる持続緩徐式血液濾過法・エンドトキシン吸着・血液吸着療法・単純血漿交換療法・血漿吸着療法・白血球除去等の特殊治療にも24時間体制で対応しています。

年間の新規導入患者、紹介患者数も多く、地域と連携し手術、入院の必要な各科(眼科、整形外科、外科、循環器内科など)の患者様を受け入れています。

◆安全で質の高い透析

当院では「透析治療の質と安全の向上」を目標に掲げ、透析支援システムの導入、透析開始2人制を行い透析開始直後のチェックの徹底、さらに臨床工学士によるチェックを行っています。また透析装置の保守、点検も定期的に責任を持って行っています。

月2回の定期採血、定期的な検査(レントゲン、エコー、CT、心電図、ABI等)を行い、透析効率や自己管理状態、合併症の早期発見に努めています。



リハビリテーション室紹介

当院リハビリテーション室は診察室を含め約670㎡の広々としたスペースで急性期リハを中心にリハサービスを提供しております。

スタッフは医師1人、理学療法士4人ですが、少数精鋭・一騎当千のごとくあらゆる患者ニーズに対応しております。

脳血管障害の患者さんなどICUより超早期リハを実施し回復期・維持期リハへは、近隣のリハ病院と連携し、患者さんのフォローに努めております。



旬の食材を利用して春を感じてみませんか？

アーサ入り混ぜご飯



～栄養量～

エネルギー 383キロカロリー
たんぱく質 11g・脂質 1.3g
炭水化物 77g・塩分 0.8g

材料 (1人分)

米 100g
人参 7g
しめじ 5g
かつおだし汁 適量
しょうゆ 1.5g
塩 0.5g
グルコン 25g
アーサ(乾) 2g

作り方

- ①人参は荒いみじん切り、しめじは石づき部分を取り除きほぐす。
- ②洗って水切りした米に、通常の炊飯量の水と同量のだし汁と①を加え、しょうゆを入れて炊く。
- ③塩焼きしたグルコンをほぐす。アーサは水に戻す。
- ④炊き上がった米飯に③を混ぜ込み蒸らす。

菜の花炒め



材料 (1人分)

菜の花 60g
玉ねぎ 20g
卵 1個
コショウ 少々
塩 0.5g
植物油 3g

作り方

- ①炒り卵を作る
- ②玉ねぎ・菜の花を炒め、火が通ったら炒り卵を加え、味付けする。

～栄養量～

エネルギー 132キロカロリー
たんぱく質 9g・脂質 8.2g
炭水化物 5g・塩分 0.5g



出産体験記



田中 まり (当院看護師)

今回私は、職場でもある地方独立行政法人那覇市立病院で出産をいたしました。待ちに待った赤ちゃんを授かりはしたものの、健康に自信がなかった私は、さてどこでお産をしたら安全なのか？案じ考えていたところ、医療設備も整い、産科医や助産師などの人材も十分であること。そして赤ちゃんになにかあったとき、新生児集中治療室(NICU)ですぐに治療できる当院なら、安心だと確信し、ここで出産することに決めました。

早朝6時、大きな胎動で起こされ、びっくりしたのもつかの間、その後5分毎の陣痛が始まり、「いよいよ出産だ」と意気込み病院に到着しました。しかし分娩が進行するにつれ、陣痛の痛みは激しさを増し、初産である私は、「この痛みはいつまで続くのだろうか？私は耐えられるのだろうか？」そして何よりも「赤ちゃんは元気なのだろうか？」と強い不安にかられ、くじけそうになります。でもそんな時、助産師がずっと付き添い、声をかけながらマッサージをしてくれました。夫の付き添いは、「孤独ではない。夫婦2人でこの子を出産するん



だ」という力をもらいました。助産師の付き添いは、分娩に関してプロフェッショナルですから「側にいるだけで安心」という安堵感に包まれ、産婦という患者の立場になってはじめて、その存在の大きさを知りました。



出産後は、当院の特徴でもあるカンガルーケアと母子同室を体験しました。カンガルーケアでは、ついさっきまでお腹の中にいた赤ちゃんが、私の胸の上に乗せられ、子どもの呼吸や体温を感じ、またおっぱいを吸おうとする姿に、生命の神秘を感じ、愛しさを覚えました。母子同室では、赤ちゃんとお過ごす生活の予行演習ができ、退院後の育児の自信につながり、何よりも同じ部屋で過ごせたことで、子どもへの愛情が深まりました。

分娩時は、助産師の付き添いで不安が軽減できたこと。また出産後は私の体調に合わせて時間を調整してくれたり、授乳時には丁寧に指導してくれたりと育児指導も満足のいく入院生活でした。

母子ともに健康で無事に産産を乗り越え、退院できたのは、医師ならびに助産師さんたちのおかげだと感謝しています。

母子ともに健康で無事に産産を乗り越え、退院できたのは、医師ならびに助産師さんたちのおかげだと感謝しています。

那覇市立病院そらまめ会(透析患者会)

那覇市立病院 そらまめ会
会長 長山 勝

透析を始めて、不安な毎日ではないでしょうか？

医療スタッフや家族の支えは大切ですが、同じ病気を持った者同士でこそ分かり合える事があります。患者同士が手をつなぎ、教え合い、助け合い命を守るために患者会ができました。

その患者会は、会員相互の親睦を図る為に、病院スタッフの協力を得てピクニックや忘年会などの行事を行っています。また、病気に対する正しい知識を習得するために学習会を行っています。

私達を取り巻く社会的、経済的諸条件の向上を目指して沖縄県腎臓病患者連絡協議会(沖腎協)、全国腎臓病協議会(全腎協)に加盟して、全県や全国の仲間と共に活動しております。

貴方も、「そらまめ会」に入会して、皆で力を合わせて充実した透析生活を目指しませんか？

そらまめ会の会費は・・・1ヶ月(500円)で年間6,000円です。その500円の内、沖腎協に400円が納入されます。

貴方のご入会をお待ちしております。



『地域医療連携室』のようこそ

新メンバーを紹介しまーす。

看護師
モリタ
森田めぐみです



那覇市立病院に就職して、7ヶ月が経ちました。今年の四月より、病棟から地域医療連携室（以下、連携室）へ移動となり、初めての経験ばかりで四苦八苦の連続ですが、楽しく業務を行っています。

オリエンテーション等を通じ、連携室の役割を、少しずつ理解しはじめています。その中で、病床確保のためのベットコントロールが、いかに重要であるかを理解することができました。

連携室目標の中に、『「急性期」「救急」「がん診療連携拠点病院」の医療機関として、地域の医療機関との役割分担・連携を推進する。』とあるのですが、近隣地域・近隣病院の特色をよく勉強し、また、諸先輩方の御指導もいただき、最終的には、自分の役割を果たせるよう頑張っていきたいと思います。

事務員
オオタテカナコ
大立可奈子です



事務員
トウメアサコ
當銘麻子です

3月から連携室に勤務することになりました。大立可奈子です。

連携室のみなさんは優しく明るい職場なので、毎日楽しく仕事をさせていただいています。未経験の仕事でわからない事ばかりですが、周りの皆さんに支えられながら頑張っていきたいです。不安もありますが、一日も早く仕事を覚え、みなさんに信頼されるように頑張ります。色々迷惑かける事もあると思いますが、よろしくお願いします。

今年度より那覇市立病院地域医療連携室に配属になりました當銘麻子です。連携室と聞いても、どのような仕事内容なのかよくわからないままでのスタートでした。まだ働き始めて2週間弱ではありますが、連携室という小さな空間で扱っている仕事量の多さに日々驚いています。今は多くの新しいことを学ぶ毎日で余裕もなく、ふとこの量の仕事をうまくこなせていけるのだろうかという不安もあります。しかし連携室で働く皆さんのチームプレイの良さとき忙しいときでもユーモアに溢れている空間が自然と学ぶことを楽しくしてくれます。すぐにとはいかなくても、確実に仕事を覚えできるだけ早く連携室の力になっていきたいです。連携室の仕事がもっとスムーズになることで、患者さんと地域医療そして那覇市立病院との繋がりがより一層深く便利なシステムになればいいなと思います。

新採用医師の紹介



ナガヨシセイジ
名 前 永吉盛司
出身地 那覇市
出身大学 千葉大学
診療科 外科

大学を卒業後、琉球大学の医局に入局。その後は関連病院の与那原中央病院をはじめに徳洲会病院、沖縄赤十字病院、中頭病院…と多くの病院をローテーションし、先輩医師や医療スタッフの方々、時には患者さんから医師として、人としてのご指導を受けてまいりました。年齢はいってありますがまだまだ未熟ですので、よろしくご指導の程お願いします。



ミヤヤロウイチロウ
名 前 宮良用一郎
出身地 那覇市
出身大学 新潟大学
診療科 内科

県立南部病院、おもろまちメディカルセンターと勤務してまいりました。よろしくをお願いします。
趣味は野球観戦、バレエ鑑賞。



コハグラトアキ
名 前 古波蔵都秋
出身地 沖縄県
出身大学 久留米大学
診療科 小児科

昭和56年9月27日生まれ、宜野湾市出身。鹿児島県池田学園池田高校卒業。久留米大学医学部卒業。
那覇市立病院で今年の3月に初期研修を終りました。
そして4月より小児科で後期研修を開始しました。これからはどうぞよろしくお願致します。



ミヤザトケンジ
名 前 宮里賢
出身地 那覇市
出身大学 琉球大学
診療科 内科(消化器)

平成11年卒業で4月より内科として勤務することになりました。専門は消化器で主に肝胆膵領域に興味があります。
宜しくお願い致します。



タシロトモコ
名 前 田代朋子
出身地 宮城県
出身大学 琉球大学
診療科 産婦人科

昭和55年6月18日生まれ、琉球大学医学部第20期生です。
初期研修の2年間をここ那覇市立病院でお世話になり、この度産婦人科医師として、また御世話になることになりました。
研修医時代以上にバワフルに頑張りますのでどうぞよろしくお願致します。



イマイキレウ
名 前 今給黎亮
出身地 鹿児島県
出身大学 鹿児島大学
診療科 小児科

初期研修医から後期研修医になりました。医師となり3年、沖縄にきて3年となりこれからも一生懸命頑張っていきます。これからは小児科の『いまきいれ』です。
よろしくお願致します。



ヒガタカオ
名 前 比嘉宇郎
出身地 那覇市
出身大学 琉球大学
診療科 外科

平成2年琉球大学第一外科入局後、県内および新潟県の病院で外科医として勤務してまいりました。当院は平成4年に9ヶ月間と平成11年に1年間勤務した経験があり、今回が3回目となります。那覇市民のひとりとして、市民の健康づくりに貢献できる様、がんばる所存です。



オオヒラテツヤ
名 前 大平哲也
出身地 沖縄県
出身大学 琉球大学
診療科 内科

内科後期研修医1年目です。
初期研修も那覇市立病院で勉強しました。
まだまだ未熟ですが、一生懸命頑張りますので宜しくお願い致します。



ユズリハミキ
名 前 杠葉美樹
出身地 長崎市
出身大学 琉球大学
診療科 泌尿器科

琉大19期生、今年で5年目で泌尿器に入局して3年目になります。
至らない点も多いかと思いますが一生懸命頑張りますので宜しくお願い致します。



イラハマキコ
名 前 伊良波牧子
出身地 那覇市
出身大学 琉球大学
診療科 外科

二年前にもお世話になり、一年間の修行の後戻って参りました。乳腺外科を主にしていくつもりですが、一般外科もまだまだ勉強中ですので、これからも向上心を持って学んでいきたいです。
よろしくお願致します。



ヤマカワリュウ
名 前 山川慶
出身地 浦添市
出身大学 琉球大学
診療科 整形外科

少しでもお役に立てるよう頑張ります。骨折、脱臼があればまずご連絡下さい。



マブチヒトシ
名 前 馬淵仁志
出身地 徳島県
出身大学 高知大学
診療科 内科

はじめまして、琉大病院で初期研修を終了し、またお世話になることになりました。医局、病院の雰囲気が大好きで、後期研修としていい病院だと思います。若い人が最近多いので、今後、よりよい研修を送りもっといい病院にしたいと思っています。



フクチアヤノ
名 前 福地綾乃
出身地 沖縄県
出身大学 琉球大学
診療科 麻酔科

琉球大学医学部20期卒。
初期研修は琉大病院で行いました(救急、小児科研修は那覇市立病院でお世話になりました)。
麻酔科に入局して2年目でまだまだ分からない事もありますが頑張ります。趣味は探検です。



キセタカヤス
名 前 喜瀬高庸
出身地 宜野湾市
出身大学 琉球大学
診療科 内科

琉球大学医学部第21期生(今年3年目)です。
那覇市立病院で2年間初期研修医として勤務して参りました。趣味はスポーツ鑑賞です。
頑張りますのでよろしくお願致します。



ザマミツアキ
名 前 座間味亮
出身地 沖縄県
出身大学 琉球大学
診療科 内科

宜野湾市出身、球陽高校卒、琉球大学21期生です。
初期研修を那覇市立病院で過ごし、今年から後期研修医として内科に残ることになりました。まだ未熟ですが、今後内科医としてやっていく基本をしっかりと身につけたいと思います。御指導の程宜しくお願い致します。

初期臨床研修医(1年次)の紹介



タイラユウスケ
名前 平良祐介
出身地 那覇市
出身大学 琉球大学

琉球大学医学部23期生で、今年度から初期臨床研修医としてお世話になります。大学では野球部に所属していました。一生懸命頑張りますので、ご指導よろしく願います。



ヨナミネケイスケ
名前 與那嶺圭輔
出身地 浦添市
出身大学 琉球大学

琉球大学医学部第23期生(研修医1年目)です。一生懸命頑張って充実した時間をすごしていきたいです。よろしく願います。趣味はサッカー・ゴルフです。



タマキアキヒコ
名前 玉城昭彦
出身地 南風原町
出身大学 山口大学

南風原町出身、首里高校卒業です。山口大学医学部卒業、研修医1年目です。まだまだ未熟で、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、一生懸命頑張りますので宜しくお願い致します。



タンバカズナ
名前 丹波和奈
出身地 奈良県
出身大学 琉球大学

今年度より、初期臨床研修医としてお世話になります丹波和奈と申します。まだまだ右も左も分からず、文字通り病院内で本当に迷ってしまいそうになる私ですが、精一杯頑張ります。趣味はカラオケと読書です。どうぞよろしくおねがいします。



イサアユミ
名前 伊佐鮎美
出身地 浦添市
出身大学 琉球大学

琉球大学医学部23期生です。昭和58年10月9日生まれ、球陽高校出身です。趣味はテニスです。精一杯頑張りますので、宜しくお願い致します。



アカミネユイコ
名前 赤嶺有衣子
出身地 南風原町
出身大学 琉球大学

4月から研修医として働かせていただくことになりました赤嶺です。開邦高校、琉球大学出身で、生まれも育ちも沖縄です。趣味は音楽鑑賞やバドミントンです。未熟者ですが、元気に頑張りますので、どうぞよろしく願致します。



アガエユリカ
名前 東江ゆりか
出身地 豊見城市
出身大学 琉球大学

昭和59年9月5日生まれ、豊見城市出身。昭和薬科大学附属高校卒業。琉球大学医学部第23期生(今年1年目)です。趣味は映画鑑賞(特に香港映画)・弓道です。気力・体力の続く限り精一杯頑張らせていただきます。宜しくお願い致します。



トクナガタカシ
名前 徳永孝史
出身地 沖縄県
出身大学 琉球大学

昭和57年4月7日生まれ、那覇市出身。開邦高校卒業。琉球大学医学部第23期生です。趣味はコンピュータ全般。スポーツは高校3年まで剣道をやっていました(初段)。わからないことだらけでご迷惑をおかけすると思いますが、一生懸命頑張りますので宜しくお願い致します。



キンジョウノリト
名前 金城典人
出身地 沖縄県
出身大学 長崎大学

S57、9、6生まれ。那覇市出身。昭和薬科大学附属高校卒業。中学・高校では剣道、大学時代は水泳をしていました。那覇市立病院で、できるだけ多くのことを学びたいと思っています。沢山ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、よろしく願います。趣味はスポーツと映画鑑賞です。



ウエマミキコ
名前 上間美起子
出身地 沖縄県
出身大学 琉球大学

昭和57年10月27日生まれ、昭和薬科中・高卒業。琉球大学医学部第23期生です。趣味はお菓子作りです。新社会人、臨床研修医として那覇市立病院で働くことをとても嬉しく思います。不安な気持ちもありますが自分にできることを一生懸命頑張りたいです。宜しくお願い致します。



チバナトモフミ
名前 知花朝史
出身地 那覇市
出身大学 琉球大学

初期研修医の知花朝史と申します。東京生まれ沖縄育ち。首里高校、琉球大学医学部を卒業し、那覇市立病院で初期研修をすることになりました。少しでも早く皆さんのお役に立てるよう頑張りますので、よろしく願います。趣味はスポーツで、特に小5から始めたバスケットボールが得意です。



シロマユウコ
名前 城間裕子
出身地 那覇市
出身大学 弘前大学

右も左も分からないペーペーですが、精一杯頑張ります。よろしく願います。大学では写真部に所属してました。那覇市立の良いところをいっぱい写真に残していきたいです。



登録医紹介

当院は病診連携を一層推進するために登録医制を設けております。
オープンシステムも備えていますのでぜひご利用下さい。
お問い合わせは地域医療連携室まで！ TEL 098-884-5134(直通)

ぐしけん皮フ科

院長 具志堅 初男 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医

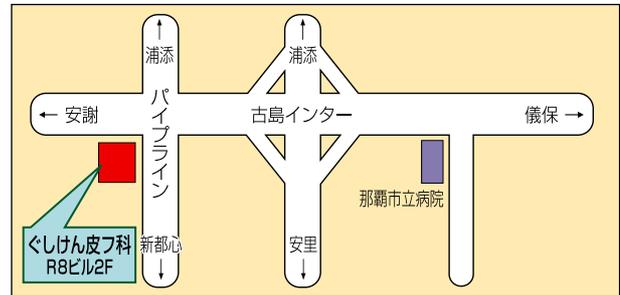
皮膚科一般・皮膚腫瘍



〒900-0004 那覇市銘苅 3-22-33
R 8ビル 2階
TEL 098-951-1112 FAX 098-951-1112

| 受付時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--------------------|---|---|---|---|---|---|
| AM9:00～ PM12:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| AM2:00～ PM6:00 | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | △ |

木・土午後・日曜・祝祭日は休診



平田胃腸科・内科

貴方の健康を考える 3H-Hospital
HIRATA CLINIC
e-mail: info@hirata-clinic.org

院長 平田 晴男

- ・日本内科学会認定医
- ・日本消化器病学会専門医
- ・日本消化器内視鏡学会認定専門医・指導医
- ・日本肝臓学会員
- ・日本医師会認定産業医



診療案内

胃腸科・内科・消化器ドック(胃・大腸ガン検診等)
肝臓病・生活習慣病(高血圧・糖尿病・高脂血症等)健康相談

診療時間

| 開院時間/曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----------|---|---|---|---|---|-------------|---|
| 午前9時～12時 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 午後2時～6時 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | △(PM4:00まで) | × |

那覇市銘苅 3丁目 22番地 33号 1F
TEL 098-869-7272
FAX 098-869-7278



当院と連携している登録医を随時紹介していく予定です。

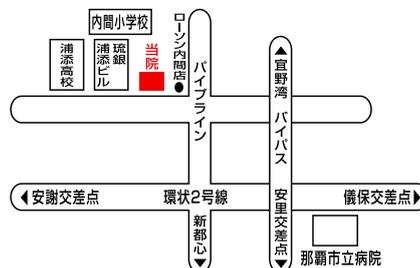
なかそね内科 循環器科

院長 仲 宗 根 豊

〒901-2121 沖縄県浦添市内間 4-1-2
TEL: 098-874-1155

| 診察時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|
| 9:00~12:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 14:30~18:00 | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ |

<休診: 木曜午後、日曜・祝祭日>



駅前 花城内科医院

院長 花城 清治

診療科目

内科・小児科
(生活習慣病検診相談施設)

診療時間



〒903-0821 沖縄県那覇市首里海保町3-8
TEL.098(884)1879
☎0120-19-8746

| 時間 \ 曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------------|---|---|---|---|---|---|
| 午前 8:30~12:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 午後 2:00~6:00 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × |

■休診日 / 日曜・祝祭日
■往診 / 木曜の午後 = 予約制



登録医紹介



楠見耳鼻咽喉科



| | | | | | | |
|-------------------|---|---|---|---|---|------|
| ■ 診療時間 耳鼻咽喉科 形成外科 | | | | | | |
| 受付時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| AM9:00~12:00 | ● | ● | 休 | ● | ● | ● |
| PM2:00~6:00 | ● | ● | 診 | ● | ● | 5時まで |
| ■ 休診時間 日曜・祝祭日・水曜日 | | | | | | |

案内図



院長 楠見 彰

〒901-2102
浦添市字前田1-1-3 2F
TEL: (098)875-7111 FAX: (098)875-7125

医療法人 新田クリニック

ソフロロジー分娩へのご招待

24時間365日オープン産婦人科クリニックも24年目になります。
ソフロロジー法分娩をおこなっています。

母親自身が本来もっている母性を妊娠中から胎児の成長をビデオを撮りそれを見ながら成長を実感し、さらにイメージトレーニング用に作った音楽を聴きながらお腹の子供に語りかけます。

子供に対する思いが募れば募るほど陣痛の痛みは軽くなります。妊娠、分娩を通して赤ちゃんとの強い絆を築きあげることにより出産後も、容易に赤ちゃんを受け入れ、心身とも安定した前向きの姿勢で育児に取り組むことができます。

なお、どうしても痛みには耐えられない人には硬膜外無痛分娩もおこなっています。



院長 新田 武司



お問合わせは
TEL. 098-863-0073(代) FAX. 098-863-0079
受付時間
月・火・木・金曜日 水・土曜日
午前 09:30 ~ 13:00 午前 09:30 ~ 13:00
午後 15:00 ~ 18:00
休診日: 日曜・祝日 ※急患の方はこの限りではありません。

心療内科・精神科・こどもの心の健康相談、内科・在宅療養支援診療所



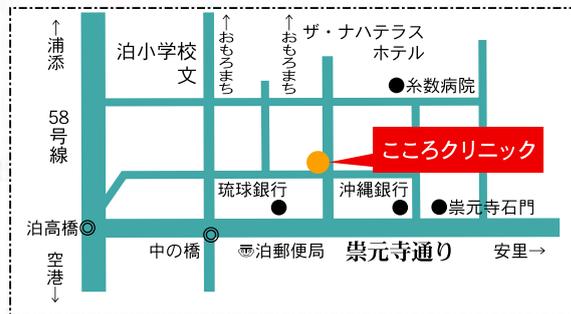
院長 又吉 嘉伸
(内科・在宅医療・往診)
副院長 二木 志保
(心療内科・児童精神科)



休診日:水曜、土曜午後、日曜、祝祭日

| | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|
| 受付時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 9:00~12:00 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ |
| 14:00~17:00 | △ | △ | 休 | △ | △ | 休 |
| ○内科、心療内科 △心療内科(内科は往診) 心療内科・精神科は 予約診療 です | | | | | | |

〒 900-0012 那覇市泊 1-13-16
Tel: 098-866-0556
Fax: 098-866-1552



平成21年度事務局新採用職員



セナガ カズヤ
瀬長 一泰

総務課 施設係

右も左もわからない初心者ですが、皆が気持ちよく仕事ができるようがんばります。



ウエザト エリナ
上里 恵理奈

経営企画室 財務グループ

早く仕事を覚えられるよう、日々頑張ります。



ナガヤマ ハヤト
長山 隼人

総合相談センター

相談センターに配属になりました長山です。早く一人前になって、立派な職員を目指します。



キンジョウ ヒロユキ
金城 博之

経営企画室 用度グループ

”現場の声”を汲み取れる職員を目指して頑張ります。



ヒガ ミヨシ
比嘉 美好

総務課 人事係

皆様に御指導を受けながら、パソコンと友人になれるようがんばります。



ツカヤマ ヒトミ
津嘉山 瞳

医事課 医事係

いろんな方々に支えてもらいながら、日々頑張っています。宜しくお願いします。



ツハ ミワコ
津波 美和子

経営企画室 用度グループ

消耗備品の購入のことなら、用度係の津波まで!



アカミネ シュウイチロウ
赤嶺 秀一郎

経営企画室 企画グループ

早く仕事を覚えて、那覇市立病院の力になれるように頑張ります。



外来担当医師表

地方独立行政法人

那覇市立病院

〒902-8511 沖縄県那覇市古島2丁目31番地1
TEL 098-884-5111(代)

| 科名 | 診療 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 受付時間・特殊外来等 | | |
|--------|------------|---------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|----------------|--------------------|-------------------|--|--------|
| 内科 | 午前 | 総合初診 | 村方 健治 | 喜屋武 幸男 | 仲地 紀哉 | 照喜名 重一 | 豊見山 良作 | ※総合初診・予約外の患者さんは診療予定人数に達し次第受付を終了します。 【循環器専門外来】 毎週水曜日 8:45~11:00 担当医：比嘉 南夫 毎週水曜日 13:00~16:00 担当医：崎原 永啓 毎週金曜日 8:45~11:00 担当医：旭 朝弘 【神経専門外来】 毎週木曜日 8:45~11:00 担当医：小林 奏 【禁煙外来】 毎週木曜日 13:00~16:00 担当医：照喜名 重一 【予約再来における主な担当分野】 呼吸器：喜屋武・知花・照喜名 消化器：島尻・仲地・豊見山・宮里・金城 循環器：崎原・田端・比嘉・旭・眞志取 腎臓・透析・膠原病：宮良・糸数 血液：新垣・内原 糖尿病・内分泌：豊見永・平良 神経：小林 ※同一診察室で午前、午後の担当医が異なる場合は原則として午後1時をその区切りとします。 毎週、担当医の変更あり 【乳児検診】月・木・金 (受付時間) 12:30~13:00 (診察時間) 13:00~14:00 【予防接種】月・木・金 (受付時間) 13:30~16:00 (診察時間) 14:00~17:00 ただし、任意の予防接種は木曜日のみ。(要予約) 【小児神経外来】 水曜日午後のみ。(予約制) (第1・3・5: 城間 直秀) (第2・4: 嶺間 博隆) ■印は、予約・紹介状のある患者さんへのみの受付となります。 | |
| | | | 旭 朝弘 | 上原 圭太 | 座間味 亮 | 大平 哲也 | 豊見山 良作 | | 内原 潤之介 |
| | | | 馬淵 仁志 | 大平 哲也 | 宮良 用一郎 | 宮里 賢 | 小林 奏 | | 下門 杉子 |
| | | 再 | 一診 | 知花 なおみ | 小林 奏 | | | | 循環器外来 |
| | | 二診 | 眞志取 多美 | 糸数 昌悦 | 崎原 永啓 | 平良 剛 | 崎原 永啓 | | |
| | | 三診 | 崎原 永啓 | 平良 剛 | 新垣 均 | 島尻 博人 | 仲地 紀哉 | | |
| | 来 | 五診 | 宮里 賢 | 内原 潤之介 | 豊見永 辰美 | 田端 一彦 | 照喜名 重一 | | |
| | 六診 | 豊見永 辰美 | | 循環器外来 | 宮良 忠 | 喜屋武 幸男 | | | |
| | 午後 | 総合初診 | 比嘉 南夫 | 新垣 均 | 照喜名 重一 | 眞志取 多美 | 比嘉 南夫 | | |
| | | | 宮良 用一郎 | 喜瀬 高庸 | 村方 健治 | 喜瀬 高庸 | 上原 圭太 | | |
| | | | 金城 譲 | 上江洲 一平 | 馬淵 仁志 | 宮良 用一郎 | 座間味 亮 | | |
| | | 再 | 一診 | 喜屋武 幸男 | 知花 なおみ | 島尻 博人 | 新垣 均 | | |
| 二診 | | 豊見山 良作 | | 循環器外来 | 糸数 昌悦 | 崎原 永啓 | | | |
| 三診 | | 平良 剛 | 宮良 忠 | 旭 朝弘 | | 仲地 紀哉 | | | |
| 五診 | 田端 一彦 | 照喜名 重一 | 田端 一彦 | 禁煙外来 | 照喜名 重一 | | | | |
| 六診 | 島尻 博人 | 崎原 永啓 | 平良 剛 | 金城 譲 | 豊見永 辰美 | | | | |
| 小児科 | 午前 | 一診 | 知念 正夫 | 屋良 朝雄 | 神谷 素子 | 渡久地 鈴香 | 知念 正夫 | | |
| | | 二診 | 渡久地 鈴香 | 桃原 由二 | 大城 征 | 大城 征 | 新垣 洋平 | | |
| | | 三診 | 新垣 洋平 | 上原 朋子 | 上原 朋子 | 桃原 由二 | 上原 朋子 | | |
| | 午後 | 一般診療 | 伊波 徹 | 知念 正夫 | ■知念 正夫 | 屋良 朝雄 | 屋良 朝雄 | | |
| | | 乳健・予防接種 | 神谷 素子 | 大城 征 | | 新垣 洋平 | 桃原 由二 | | |
| | | 特診 | 屋良 朝雄 | | | 上原 朋子 | 神谷 素子 | | |
| | | 【遺伝相談】 成富 研二 | 【未熟児】 神谷 素子 【心エコー】 伊波 徹 | 【内分泌】 渡久地 鈴香 【神経外来】 伊波 徹 | 【心エコー】 伊波 徹 | 【循環器】 伊波 徹 | | | |
| 外科 | 午前 | 川野 幸志 | 山城 和也 | 久高 弘志 | 久高 弘志 | 大城 健誠 | | | |
| | | 宮里 浩 | 久高 学 | 宮里 浩 | 上原 忠司 | 久高 学 | | | |
| | | | | 比嘉 宇郎 | | | | | |
| | 午後 | 大城 健誠 | 川野 幸志 | 久高 学 | 久高 弘志 | 山城 和也 | | | |
| | | 久高 学 | 山里 将仁 | 高江洲 享 | 山里 将仁 | 永吉 盛司 | | | |
| | | 上原 忠司 | | | 友利 寛文 | | | | |
| 整形外科 | 午前 | 初診 | 仲宗根 朝洋 | 大城 互 | 屋良 哲也 | 玉城 一 | 外間 浩 | | |
| | | 再来 | 屋良 哲也 | 外間 浩 | 玉城 一 | 大城 互 | 仲宗根 朝洋 | | |
| | | | 勢理客 久 | 山川 慶 | | 福田 望 | 勢理客 久 | | |
| | 午後 | 初診 | 勢理客 久 | 山川 慶 | 福田・山川 (交替) | 福田 望 | 勢理客・福田・山川 (交替) | | |
| | | 再来 | 屋良 哲也 | 外間 浩 | 玉城 一 | 大城 互 | 仲宗根 朝洋 | | |
| | | | | | | | | | |
| 産婦人科 | 午前 | 伊是名(産科) | 池宮城(産科) | 渡嘉敷(産科) | 池宮城(産科) | 當間(産科) | | | |
| | | 田代(婦人科) | 渡嘉敷(婦人科) | 當間(婦人科) | 伊是名(婦人科) | 渡嘉敷(婦人科) | | | |
| | | 當間(産科) | 田代(産科) | 伊是名(産科) | 渡嘉敷(産科) | 田代(産科) | | | |
| | 午後 | 池宮城(婦人科) | 當間(婦人科) | 池宮城(婦人科) | 田代(婦人科) | 伊是名(婦人科) | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 脳神経外科 | 午前 | 豊見山 直樹 | 豊見山 直樹 | 手術 | 百次 仁 | 百次 仁 | | | |
| | | 島袋 洋 | 百次 仁 | | 島袋 洋 | 豊見山 直樹 | | | |
| | | | | | | | | | |
| | 午後 | 島袋 洋 | 島袋 洋 | 手術 | 豊見山 直樹 | 百次 仁 | | | |
| | | | 喜瀬 美智子 | | 喜瀬 美智子 | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 皮膚科 | 午前 | 新垣 肇 | 川崎 恭子 | 川崎 恭子 | 新垣 肇 | 川崎 恭子 | | | |
| | | ■川崎 恭子 | ■新垣 肇 | ■新垣 肇 | ■川崎 恭子 | ■新垣 肇 | | | |
| | | | | | | | | | |
| | 午後 | 外来手術 | 新垣 肇 | 外来手術 | 新垣 肇 | 川崎 恭子 | | | |
| | | | ■川崎 恭子 | | ■川崎 恭子 | ■新垣 肇 | | | |
| | | | | | | | | | |
| 眼科 | 午前 | 今泉 綾子 | 久志 雅和 | 今泉 綾子 | 目取眞 市子 | 久志 雅和 | | | |
| | | 久志 雅和 | | 久志 雅和 | | ※目取眞 市子 | | | |
| | | 目取眞 市子 | | 目取眞 市子 | | | | | |
| | 午後 | 特殊検査・治療のみ | 手術 | 特殊検査・治療のみ | 手術 | 久志 雅和 特殊検査・治療のみ | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 泌尿器科 | 午前 | 紅葉 美樹 | 山城 清治 | 呉屋 真人 | 山城 清治 | 呉屋 真人 | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | 午後 | 呉屋 真人 | 松村 英理 | 山城 清治 | 紅葉 美樹 | 豊里 友常 | | |
| | | *山城 清治 | | 山城 清治 | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 耳鼻咽喉科 | 午前 | 神谷 義雅 | 神谷 義雅 | 比嘉・玉城(交替) | 嘉数 光雄 | 嘉数 光雄 | | | |
| | | | ■嘉数 光雄 | | ■神谷 義雅 | | | | |
| | | 午後 | *嘉数 光雄 *新濱 明彦 | ■嘉数 光雄 ■神谷 義雅 | 手術 | ■神谷 義雅 ■嘉数 光雄 | 手術 | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 精神科 | 午前 | 小林 敬 | 屋宜 盛秀 | *名古屋 和彦 | 屋宜 盛秀 | | | | |
| | | | | *名古屋 和彦 | | | | | |
| | | 午後 | | | | | | | |
| | 放射線科 | 午前 | 足立 源樹 | 足立 源樹 | 足立 源樹 | 足立 源樹 | | | |
| | | 午後 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 歯科口腔外科 | 一診 | 仲宗根 康雄 | 仲宗根 康雄 | 仲宗根 康雄 | 手術 | 仲宗根 康雄 | | | |
| | | 津波古 判 | 津波古 判 | 津波古 判 | 立津 政晴 | 津波古 判 | | | |
| | 二診 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | リハビリテーション科 | 午前 | | | | | | | |
| | | 午後 | | | | | | | |
| 救急 | | 濱田 賢治・寺田泰藏(但し、必要に応じて各専門診療科へつなぐ) | | | | 8:30~17:00 | | | |

*土・日曜日、祝日、慰霊の日、年末年始は急病センターにて終日診療
*手話通訳を希望される方は予約が必要となります。事前に医療福祉相談室にご連絡ください。医療福祉相談室(内線127)